

## お知らせ

## 単元未満株式の買取・買増請求について

ご所有の単元未満株式(100株未満の株式)につきましては、当社に対してその単元未満株式を買い取るよう請求いただく買取請求、当社に対して1単元(100株)に不足する数の株式を売り渡すよう請求いただく買増請求をすることができます。【詳しくは、11ページをご参照ください。】

お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。特別口座に記録された単元未満株式につきましては、下記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。

## 株主メモ

1. 事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
2. 定時株主総会 6月
3. 同総会権利株主確定日 3月31日
4. 配当金の受領株主確定日 期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日
5. 公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載いたします。  
ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、那覇市において発行する沖縄タイムス、琉球新報及び東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。  
ホームページ <http://www.okiden.co.jp/>
6. 株主名簿管理人、特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
【同連絡先】  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL: 0120-232-711 (通話料無料)

## (ご注意)

1. 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

地域とともに、地域のために  
沖縄電力株式会社〒901-2602 沖縄県浦添市牧港5-2-1  
TEL:(098)877-2341(代表)  
<http://www.okiden.co.jp/>見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C013080

## 目次

株主のみなさまへ	2
上半期の状況	3
連結決算対象会社の概要	6
連結財務諸表	7
美ら島めぐり(黒島)	9
お知らせ	11
財務データ	12
株式の状況	13
会社の概要・役員	14

### 『うふていーだ』とは

沖縄の方言で「うふ」は大きいを意味し、「ていーだ」は太陽のこと。「うふていーだ」は“大きい太陽”の意味。太陽は万物を育む星であり、エネルギーの象徴です。当社の本店所在地である浦添市も「てだこのまち(太陽の子のまち)」と称しています。

表紙写真：黒島の豊年祭で行われるパーレー(はりゅうぜん きょうまつ) 競漕

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

平成27年9月30日をもって第44期の上半期を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当上半期の販売電力量は、新規お客さまなどによる需要増から、前年同期に比べ2.3%増の41億13百万kWhとなりました。

当上半期の連結収支につきましては、売上高(営業収益)は、前年同期に比べ1.5%減の966億79百万円、経常利益は16.0%減の58億58百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は12.8%減の45億87百万円となりました。

当社グループの中心である電気事業を取り巻く経営環境は大きく変化しております。国において議論されてきた電力システム改革は、平成27年4月の電力広域的運営推進機関の業務開始により、本格的に実施される段階に入ってきました。沖縄地域における電力システム改革の方向性につきましては、平成28年4月の小売全面自由化は本土と同様に実施されますが、送配電部門の一層の中立化を図るための法的分離については、当社は認可一般送配電事業者と位置付けられることで対象外となり、引き続き発送電一貫体制を維持することになります。沖縄地域における電気事業の特殊性を踏まえ、真にお客さまの利益につながる電力システムの実現に取り組んでまいります。また、小売全面自由化を迎えるにあたっては、お客さまに選択いただけるよう更なる競争力の確保に努めてまいります。

一方、収支面では電力需要の伸びが鈍化していることや燃料費及び減価償却費が依然高い水準で推移することから、より一層厳しい経営環境となる見通しであります。今後もこれまでの効率化施策に加え、更なるコスト低減策を立案・実施することはもとより、売上拡大に積極的に取り組んでまいります。

地球温暖化対策につきましては、当社において最も有力な手段である液化天然ガス(LNG)を燃料とした吉の浦火力発電所の着実な運用を通して、低炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。再生可能エネルギーにつきましては、国における施策を踏まえ、今後、沖縄における導入拡大にかかる課題を明確にし、安定供給を前提として適切に対応してまいります。

また、台風や地震、津波などの自然災害に備え、災害対策の強化にも取り組んでまいります。台風対応については、これまでさまざまな改善を積み重ねてきましたが、更なる設備対策の強化や停電の早期復旧体制の強化、お客さまへの情報提供の充実に取り組んでまいります。

無事故無災害に向けた取り組みは、企業が事業活動を行う上で最も基本的な責務として、最大限の努力をもって徹底される

べきものです。「安全」は経営の根幹であり、最優先事項であることを強く認識し、グループ・協力会社一体となって、安全文化の浸透や安全管理の徹底に努めるとともに、当たり前のことを一つひとつ丁寧に積み重ね、電気の安定供給という使命を果たしてまいります。

電気事業以外の事業につきましても、経営環境の極めて厳しい状況が続いておりますが、グループ役員一人ひとりが強く危機意識を持ち、徹底したコスト低減と最大限の業務効率化並びに強固な収益基盤の構築に取り組んでまいります。また、平成27年5月より、当社が目指す総合エネルギー事業者としての将来を切り拓くガス供給事業を開始しました。これまで関わりの薄かった産業・業務用の熱需要分野へ事業領域を拡大し、着実に事業を推進していくとともに、引き続き、総合エネルギー事業者としてお客さまの多様なニーズに対応するサービスの充実に向けて取り組んでまいります。

当社グループは、目指すべき姿「総合エネルギー事業をコアとして、ビジネス・生活サポートを通じた新しい価値の創造を目指し、地域に生き、共に発展する一体感のある企業グループ」の実現に向けて、「経営基盤の強化」及び「沖電グループブランドの確立」に全力を尽くしてまいります。

なお、平成27年6月1日付で、株主のみなさまへの利益還元及び当社株式の流動性を高めることを目的に、1株につき1.5株の割合による株式分割を実施いたしました。当期の中間配当につきましては、今回の株式分割に伴う調整を行わず、昨年と同額の1株につき30円とさせていただきますので、実質的な増配となります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも当社グループの事業に対し、格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月



取締役会長

石嶺 伝一郎



取締役社長

大嶺 満

# 上半期の状況

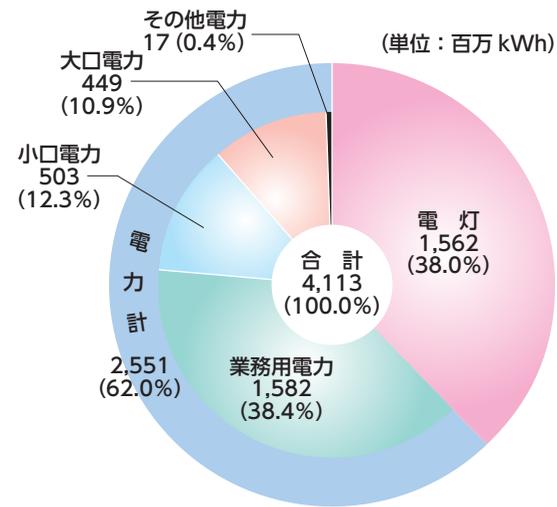
## 販売電力量の状況

当上半期の販売電力量は、家庭用電灯や業務用電力などの民生用需要では、新規お客さまなどによる需要増から、前年同期を上回りました。産業用需要では、大口電力における石油業や鉄鋼業などの需要減により、前年同期を下回りました。

以上の結果、当上半期の販売電力量は、電灯が15億62百万kWh、電力が25億51百万kWh、合計では、前年同期に比べ2.3%増の41億13百万kWhとなりました。

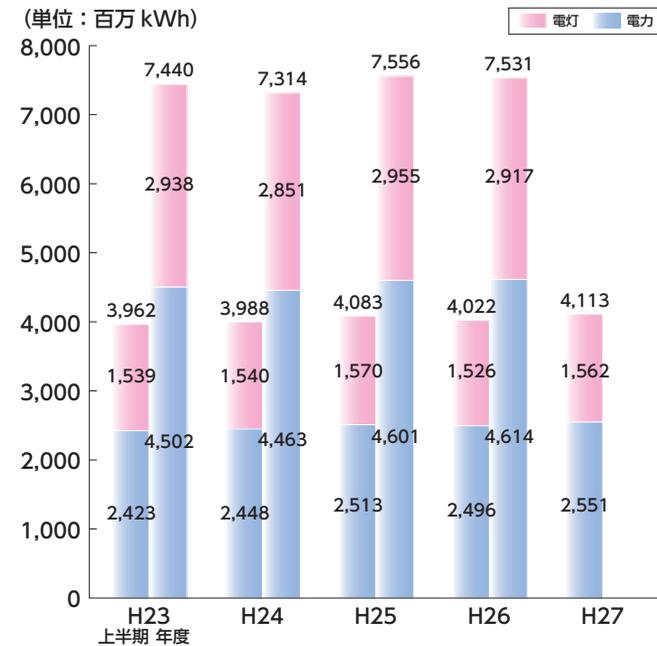
供給力については、必要供給力を確保し既設設備全般にわたる順調な運用を行い、安定した電力供給ができました。

■当上半期販売電力量の構成



※特定規模需要を含んでおります。

■販売電力量の推移



※特定規模需要を含んでおります。

## 収支の状況

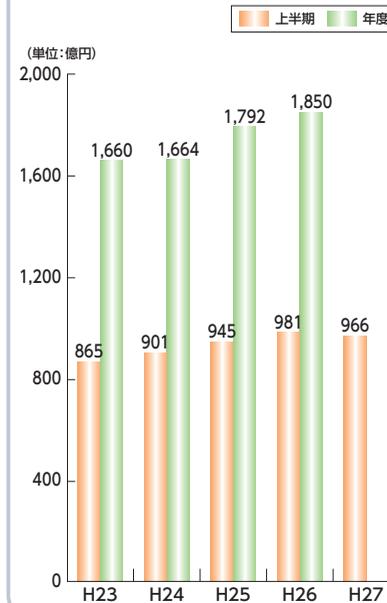
当上半期の連結収支につきましては、収入面では、電気事業において販売電力量の増加や再エネ賦課金の増加があったものの、燃料費調整制度の影響などにより電灯電力料は減少しました。その結果、売上高(営業収益)は、再エネ特措法交付金の増加があったものの、前年同期に比べ1.5%減の966億79百万円となりました。

支出面では、電気事業において再エネ買取量の増加により他社購入電力料が増加したものの、燃料費や固定

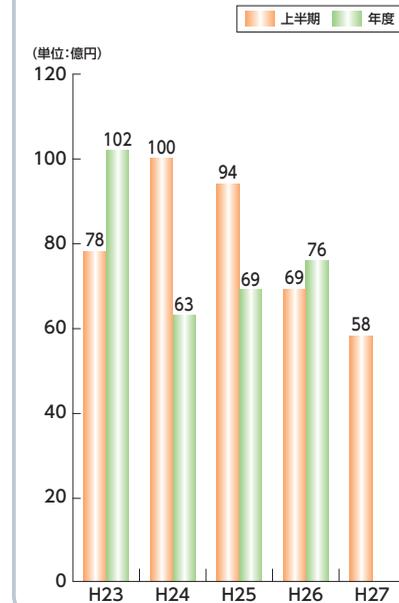
資産除却費等が減少したことから、営業費用は0.3%減の899億5百万円となりました。

以上の結果、営業利益は14.6%減の67億74百万円となりました。また、営業外損益を含めた経常利益は16.0%減の58億58百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は12.8%減の45億87百万円となりました。

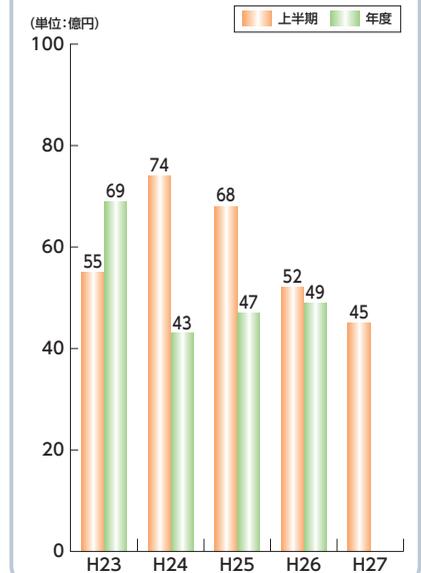
■売上高の推移(連結)



■経常利益の推移(連結)



■親会社株主に帰属する当期純利益の推移(連結)



設備の概要

発電所

石油火力	汽力 (2カ所)	出力 375,000kW
	ガスタービン (4カ所)	出力 291,000kW
石炭火力	内燃機 (13カ所)	出力 198,550kW
	汽力 (2カ所)	出力 752,000kW
LNG火力	コンバインドサイクル (1カ所)	出力 502,000kW
	ガスタービン (1カ所)	出力 35,000kW
新エネルギー	風力 (4カ所)	出力 2,425kW
合計 (27カ所)		出力 2,155,975kW

送電線

架空線	亘長 807km
地中線 (水中含む)	亘長 307km
合計	亘長 1,115km

変電所

(137カ所)	出力 7,054MVA
---------	-------------

配電線

架空線	亘長 10,321km
地中線 (水中含む)	亘長 431km
合計	亘長 10,752km

(平成27年9月30日現在)

連結決算対象会社の概要

(平成27年9月30日現在)

会社名	設立年月日 資本金	主要な事業内容
 株式会社 沖電工	昭和43年6月12日 130百万円	土木・建築・電気・管・電気通信工事の施工、電力設備工事の施工及び保守点検
 沖電企業株式会社	昭和50年10月15日 43百万円	内燃力発電設備の工事・補修及び受託運転、電気機械器具の販売及び修理、総合広告代理店、車両・物品リース、自動車整備、損害保険代理店
 沖縄プラント工業株式会社	昭和56年6月2日 32百万円	電気機械設備の受託運転、電気・機械設備工事の施工
 沖縄電機工業株式会社	昭和46年12月23日 23百万円	電気計器の修復及び検定代弁、電気設備の資機材販売
 沖電開発株式会社	平成元年4月26日 50百万円	土地建物の管理・売買及び賃貸借、水産養殖
 沖電グローバルシステムズ株式会社	平成3年4月12日 20百万円	コンピュータシステムの設計・構築・運用・販売、コンピュータ及び周辺機器の販売・斡旋・賃貸借等
 沖縄エネテック	平成6年5月10日 40百万円	電力設備の調査・設計及び工事監理、環境調査・地質調査及び用地測量
 沖縄新エネ開発株式会社	平成8年10月14日 49百万円	再生可能エネルギーによる売電、再生可能エネルギーの企画立案・調査及び設計、再生可能エネルギー設備の建設及び保守
 株式会社 沖設備	平成7年9月18日 20百万円	空調設備・衛生設備・電気温水器・エコキュート・IHの設置工事、太陽光発電システム・LED照明の販売及び施工
 ファーストライディングテクノロジー株式会社	平成13年7月11日 450百万円	インターネットデータセンター事業、コンタクトセンター事業
 株式会社 プログレッシブエナジー	平成13年8月23日 100百万円	天然ガス・LNG(液)の販売、可倒式風力発電設備の建設及び保守、自家発電システムの設置・運転及び保守、省エネルギー支援サービス

(注) 上記のほかに、持分法適用関連会社として、沖縄通信ネットワーク株式会社があります。

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計 年度末 (平成27年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成27年9月30日)	科目	前連結会計 年度末 (平成27年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成27年9月30日)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
固定資産	378,007	369,636	固定負債	212,712	194,899
電気事業固定資産	327,333	323,800	社債	69,999	59,999
汽力発電設備	138,886	134,246	長期借入金	100,525	93,873
内燃力発電設備	17,416	19,313	リース債務	28,411	27,698
送電設備	48,463	47,879	退職給付に係る負債	9,658	9,630
変電設備	34,419	33,857	その他	4,116	3,696
配電設備	73,827	74,062			
業務設備	13,215	13,037	流動負債	61,139	68,341
その他の電気事業固定資産	1,103	1,403	1年以内に期限到来の固定負債	27,098	35,145
			短期借入金	5,172	5,626
その他の固定資産	15,030	15,963	コマーシャル・ペーパー	-	2,000
固定資産仮勘定	11,833	8,329	支払手形及び買掛金	10,526	8,743
建設仮勘定及び除却仮勘定	11,833	8,329	未払税金	2,795	3,415
			その他	15,547	13,411
投資その他の資産	23,810	21,542	負債合計	273,851	263,240
長期投資	11,549	9,337			
繰延税金資産	8,535	8,523	<b>(純資産の部)</b>		
その他	3,797	3,750	株主資本	143,892	147,942
貸倒引当金(貸方)	△ 72	△ 68	資本金	7,586	7,586
			資本剰余金	7,141	7,141
流動資産	43,817	45,495	利益剰余金	129,442	133,505
現金及び預金	13,516	11,392	自己株式	△ 278	△ 291
受取手形及び売掛金	8,846	13,109			
たな卸資産	15,163	13,025	その他の包括利益累計額	3,116	2,984
繰延税金資産	1,691	1,827	その他有価証券評価差額金	2,642	2,581
その他	4,727	6,324	繰延ヘッジ損益	△ 9	8
貸倒引当金(貸方)	△ 127	△ 184	退職給付に係る調整累計額	483	394
			非支配株主持分	964	965
			純資産合計	147,973	151,891
合計	421,824	415,131	合計	421,824	415,131

## 四半期連結損益計算書

### 【第2四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	科目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業費用	90,203	89,905	営業収益	98,131	96,679
電気事業営業費用	86,999	86,714	電気事業営業収益	94,853	93,491
その他事業営業費用	3,203	3,190	その他事業営業収益	3,278	3,188
営業利益	( 7,928)	( 6,774)			
営業外費用	1,402	1,349	営業外収益	448	433
支払利息	1,334	1,230	受取配当金	145	151
その他	67	118	受取利息	6	9
			持分法による投資利益	97	100
			その他	198	171
四半期経常費用合計	91,605	91,254	四半期経常収益合計	98,580	97,113
経常利益	6,974	5,858			
税金等調整前四半期純利益	6,974	5,858			
法人税等	1,702	1,269			
四半期純利益	5,272	4,589			
非支配株主に帰属する四半期純利益	9	1			
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,262	4,587			

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,506	13,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,118	△ 7,788
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,809	△ 7,493
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	578	△ 1,793
現金及び現金同等物の期首残高	8,541	11,256
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,120	9,462



島に広がる見渡すかぎり緑の牧草地

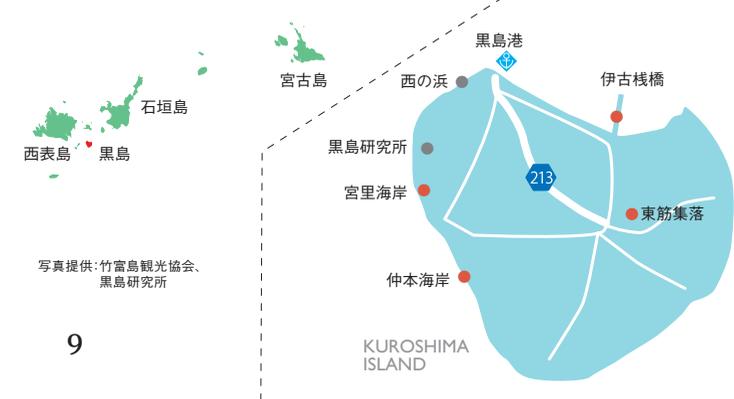
# 黒島

美ら島めぐり



沖縄本島

ハートの形をした  
人よりも牛が多いのどかな島



写真提供: 竹富島観光協会、黒島研究所

石垣島から南南西に17km、フェリーで30分ほどの場所に位置する黒島は外周が約12.6kmの小さな島で、その形がハートに見えることからハートアイランドとも呼ばれています。

牧畜が盛んなことで知られる黒島では、人口の10倍以上にあたる約3,000頭の牛が飼育され、平坦な土地に広がる牧草地ではあちらこちらで草を食む牛たちが見られます。飼育されている牛は黒毛和牛種の肉牛が大半を占め、のびのびと育てられた牛たちはやがて出荷の時を迎え、全国各地で名だたるブランド牛へと成長していきます。最近では、島の一大産業に成長した畜産業に夢を託し、島にUターンする若者も増え、更なる発展が期待されています。

そんな牛の島で毎年2月に開催されているのが「牛まつ



宮里海岸で行われる豊年祭の奉納芸能 弥勒行列

り」です。高級和牛をたっぷり使った牛汁や牛の丸焼きなどの料理がふるまわれるほか、牛1頭が当たる抽選会などもあり、島内外から多くの人々が訪れ大いに賑わいます。

## 豊穡は海の彼方からやってくる

地場産業を盛り上げようと始まった「牛まつり」だけでなく、黒島では古くからの伝統行事も盛んです。なかでも五穀豊穡をもたらすという海の彼方のニライカナイの神に感謝し、弥勒行列、伝統舞踊などを奉納する豊年祭は島最大の伝統行事です。舞台となるのは島の西側に位置する宮里海岸。祭のメインとなるパーレー（爬龍船）競漕は、船を漕いで海岸へ到着した後、ウーニー（走者）が船から飛び降り、砂浜を走って先に長老のもとに駆けつけた者



仲本海岸ではウミガメに出会えることも 国登録有形文化財 伊古棧橋



豊年祭で行われるパーレー競漕



牛1頭が当たる牛まつり

が勝ちとされる独特のものです。琉球王朝時代に、村同士の作付面積を競う勝負で引き分けとなり、舟漕ぎ競争で勝敗をつけたところ、その年がこれまでにない豊作となったことからパーレー競漕を取り入れるようになったと言われています。勇ましい男たちの真剣勝負に祭は大きな盛り上がりを見せます。

## 美しい自然と伝統文化に彩られて

八重山諸島に属する黒島では、美しい海も大きな魅力の一つです。なかでも仲本海岸では、浅瀬のサンゴ礁の周りをたくさんの熱帯魚が彩り、リーフの外ではマンタやウミガメなどが泳ぐダイナミックな姿を見ることができます。

ほかにも、国登録有形文化財に指定されている伊古棧橋や、日本の道100選にも数えられる東筋集落から黒島港までの景観など、さまざまな見どころが島中にちりばめられています。

美しい自然に恵まれ、伝統文化に彩られた黒島。ゆったりと流れる時間のなかで、小さな島に溢れるたくさんの魅力を大切にしながら、人々は日々の暮らしを育てていきます。

# お知らせ

## 単元未満株式の買取・買増請求について

当社株式の市場での取引は100株（1単元）単位となっているため、単元未満株式（100株未満の株式）を市場で売買することはできません。

当社では単元未満株式の買取・買増請求制度を実施しており、これらについての手数料を無料としております。

### 【買取請求制度】

株主さまがご所有の単元未満株式を市場価格にて買い取るよう当社に請求することができる制度

(例) 株主さまが70株をご所有の場合



### 【買増請求制度】

株主さまがご所有の単元未満株式と合わせて1単元（100株）となるように、市場価格にて単元未満株式を売り渡すよう当社に請求することができる制度

(例) 株主さまが70株をご所有の場合



お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。特別口座に記録された単元未満株式につきましては、下記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

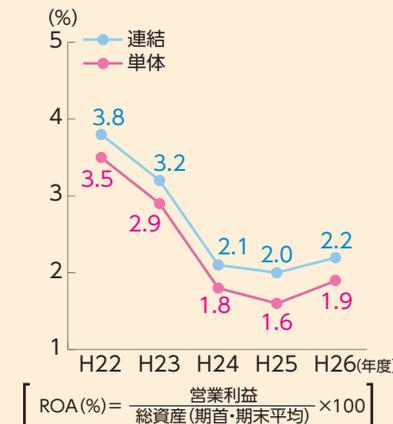
## 特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座に記録されている株式については、特別口座のままでは売却できません（単元未満株式の買取・買増請求を除く）。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。お手続きの詳細は、下記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。

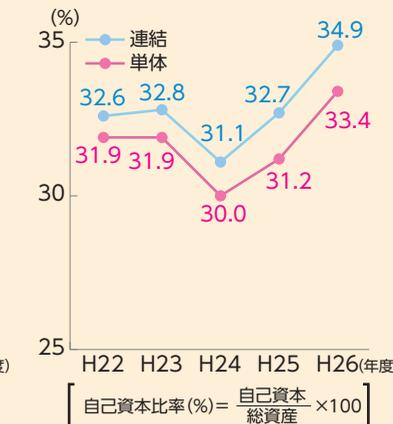
特別口座の口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL：0120-232-711（通話料無料、平日9：00～17：00）

# 財務データ

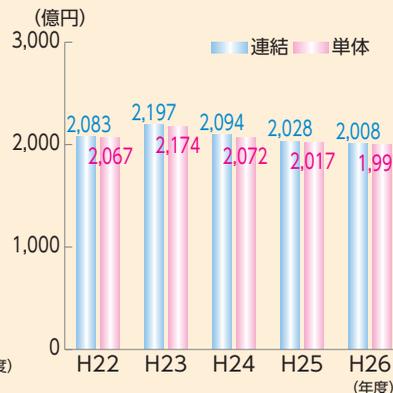
## ■総資産営業利益率(ROA)の推移



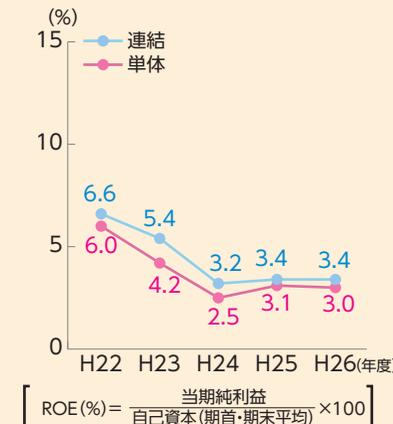
## ■自己資本比率の推移



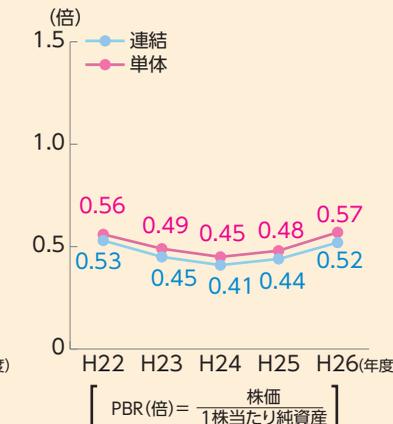
## ■有利子負債残高の推移



## ■自己資本当期純利益率(ROE)の推移



## ■株価純資産倍率(PBR)の推移



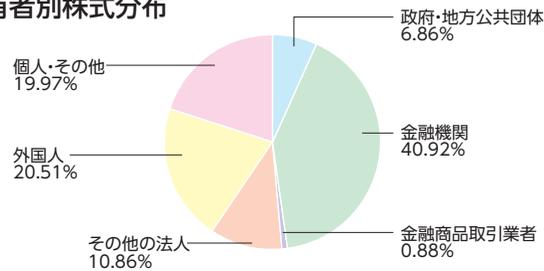
## ■株価収益率(PER)の推移



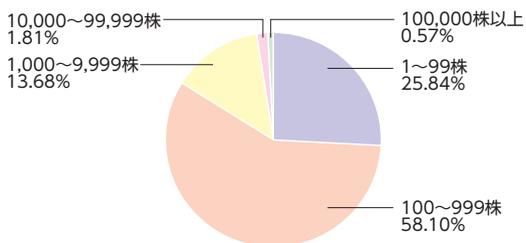
# 株式の状況

- 発行済株式総数 ……26,287,084株
- 株主数 ……7,967名

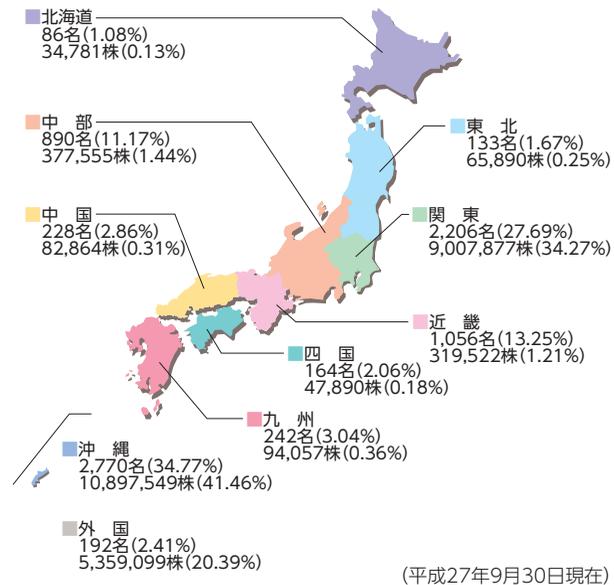
## 所有者別株式分布



## 所有株数別株主分布

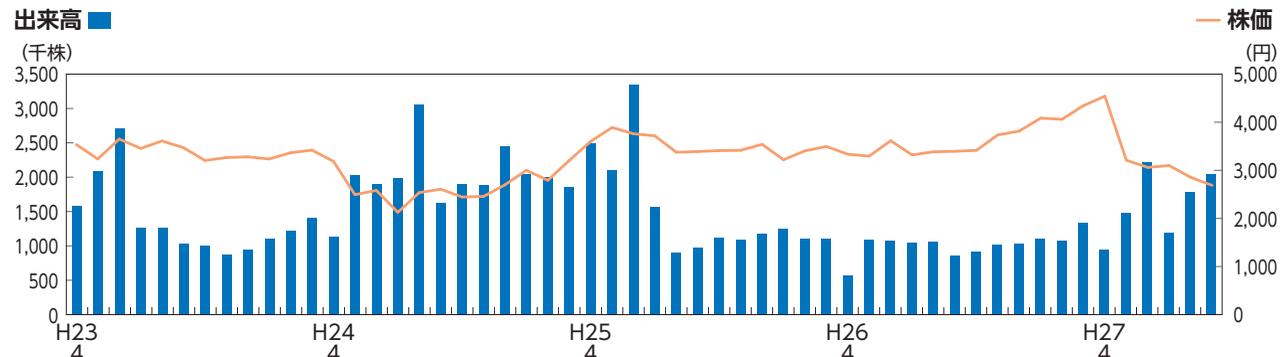


## 地域別状況



(平成27年9月30日現在)

## 株価（月末終値）・出来高の推移



※平成27年6月1日付で1株につき1.5株の割合で株式分割を実施しましたが、上記グラフにおいては株価の調整を行っておりません。

# 会社の概要・役員

## 会社の概要

会社の目的  
(定款記載)

- 電気事業
- 電気機械器具の製造、修理、販売及び賃貸
- 蓄熱式空調・給湯装置その他の電力需要平準化又は電気の効率利用に資する設備の製造、販売、リース、設置、運転及び保守
- ガス供給事業
- 蒸気、温水、冷水等による熱供給事業
- 情報処理、情報提供サービス及びソフトウェアの開発、販売並びに電気通信事業法に定める電気通信事業
- 情報処理及び電気通信事業に関する情報通信機器の製造、修理、販売及び賃貸
- 石炭灰等の電力副産物及びそれを原材料とする製品の製造、販売
- 不動産の売買、賃貸借及び管理並びに駐車場の経営
- 深夜電力及び温排水を利用した水産物の生産、加工及び販売に関する事業
- 水耕栽培法による野菜、果物、花卉の生産及び販売に関する事業
- ホテル、マリッジ施設、ゴルフ場、ゴルフ練習場の経営に関する事業
- 介護サービス事業及び老人ホームの経営
- エネルギー利用、環境並びに前各号に関する調査、エンジニアリング、コンサルティング及び技術・ノウハウ・情報の販売
- 前各号に附帯関連する事業

設立年月日 昭和47年5月15日  
資本金 75億8,646万500円  
発行可能株式総数 4,500万株  
発行済株式の総数 2,628万7,084株  
供給区域 沖縄県  
従業員数 1,547名

本店 沖縄県浦添市牧港五丁目2番1号  
東京支店 東京都港区南青山一丁目15番9号  
那覇支店 沖縄県那覇市旭町114番地4  
浦添支店 沖縄県浦添市牧港四丁目11番3号  
うるま支店 沖縄県うるま市江洲358番地の2  
名護支店 沖縄県名護市東江五丁目12番27号  
宮古支店 沖縄県宮古島市平良字荷川取459番地1  
八重山支店 沖縄県石垣市字大浜441番地2

(平成27年9月30日現在)

## 役員

取締役会長	石 嶺 伝 一 郎
取締役社長	大 嶺 満 之 人
取締役副社長	本 永 浩 之 人
取締役副社長	島 袋 清 人
常務取締役	仲 里 武 思 樹
常務取締役	恩 川 英 樹
取締役	桑 江 登 学
取締役	宮 里 学 齊
取締役	仲 宗 根 邦 男
取締役(社外)	小 祿 洋 晃
取締役(社外)	北 川 晃 己
取締役(社外)	岡 田 克 己
常任監査役	山 城 正 輝
監査役(社外)	比 嘉 正 輝
監査役(社外)	野 崎 四 郎
監査役(社外)	阿 波 連 光

(平成27年9月30日現在)